

2026年10月28日

共重合ポリエステル樹脂「バイロン®」の新研究棟竣工 ～オープンイノベーションを推進し、電子材料分野の研究開発を加速～

東洋紡エムシー株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長執行役員 CEO:藤井尚毅、以下「当社」)は、当社堅田サイト(滋賀県大津市)に、共重合ポリエステル樹脂「バイロン®」をはじめとする機能樹脂製品の新たな研究開発拠点を新設しました。新研究棟の完成を祝し、10月15日に竣工式および内覧会を執り行いました。同研究棟は、2027年1月の使用開始を予定しています。

当社の共重合ポリエステル樹脂「バイロン®」は、耐熱性や接着性、柔軟性に優れ、電子材料用途をはじめ幅広い分野で採用されています。近年、電子機器の高性能化や自動車の電装化の進展に伴い、高機能材料へのニーズが一層高まっています。こうした市場環境を背景に、当社は研究開発体制の強化と開発スピードの向上を目的として、新研究棟を建設しました。

新研究棟には、大型試験設備の導入を見据えたパイロット実験室を設置したほか、研究者同士の交流や、お客さま・大学・企業との共同開発など、社内外との連携を意識した設計としています。社内外の知見を積極的に取り入れるオープンイノベーションを推進し、新たな技術や製品の創出につなげることで、電子材料分野における競争力強化を目指します。

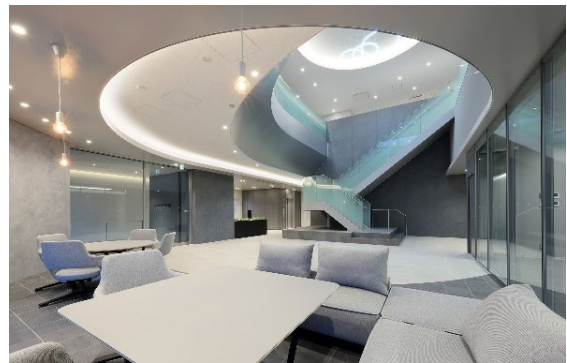
当社は、今後も、「バイロン®」を用いたフレキシブルプリント配線板(FPC)向け接着剤や低圧成形封止材「バイロショット®」などの開発を加速させるとともに、国内外のお客さまのニーズに対応した高付加価値製品の創出に努めてまいります。



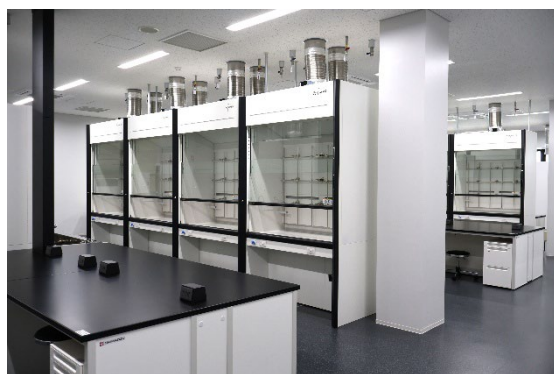
完成した研究棟



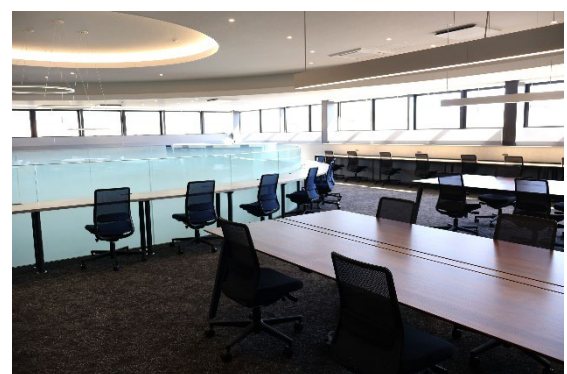
竣工式で玉串奉奠を行う弊社社長の藤井



エントランス



実験室



執務スペース

■新研究棟の概要

所在地	滋賀県大津市堅田 2-1-1
建築面積	1,270.97m ²
延べ床面積	1,799.03m ²
構造	鉄骨造地上 2 階建て
用途	研究所、事務所
使用開始	2027 年 1 月 (予定)
設計	株式会社東畑建築事務所
施工	株式会社鴻池組

以上

このニュースリリースに掲載されている内容は、発表日時点の情報です。発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ先

東洋紡エムシー株式会社 経営企画部 企画・広報グループ Mail : info_tmc@toyobo-mc.jp Tel : 06-6348-3310